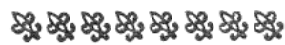


科学者，技術者よ宗教に帰れ

巻頭言



—科学と宗教は必ず収斂する—

青柳健次*

皆様御承知のように，世界の物質的資源は底をつき始め，世界中が未来の生活につき不安を抱き始めております。人の寿命も延びれば延びるで老いも若きも将来に怖れる感ずるようになってきました。若人はまた生活に楽しみはあっても喜びがないと仰いだしました。5，6年前とは著しい世相の変化であります。教育は荒廃し，受験受験で学生は何のための勉強かその目的を失い，友達は敵と思えの痛ましい精神的不具者になりつつあります。この競争心は大人にも及び，私は先日ある日本の代表的大会社の海外出張員が，自国他社の製品の欠点を指摘したパンフレットを作り国外にばらまき自社製品の優秀性を誇張しているという悲しむべき現実を知らされました。私の実際の体験でもレントゲンの展示場で夜ひそかにその配線が切断され，翌日の展示のとき，その機械が動かなかったことを見ております。鹿を追う者山を見ずの譬えのように，それぞれは人間であることを忘れた動物的行動であります。英国に Educate men without religion, but makes them clever devil という有名な言葉があります。まさに宗教なき教育は賢い悪魔を作るわけがあります。

この時に及んで吾々科学技術者は深く吾々の心の故郷，生と死を見つめる正しい宗教に再び思いを馳せる必要があるのではないのでしょうか。私は正しき宗教心を持った科学技術者こそ本当にその道の達人であるということ

*青柳健次 (Kenji AOYAGI), 大阪電気通信大学, 工学部, 電子工学科教授 (大阪大学名誉教授), 工学博士, 電子工学

ができると思います。と申しますのは吾々科学技術者は少しでも世の中を楽しく，明るくするために全生命を新しい事実の発見に，あるいは新しい技術の開発に捧げているわけでありまして，これ凡て人類愛のためであるからでありますし，またコリント書にもありますように，愛に基かない行動は凡て無意義なものであるからであります。無私的愛は人を勇気づけ，疲れを忘れさせる一番の原動力であります。しかしながら若い科学者は宗教は科学の敵であるように考えがちであります。しかし宗教も科学と共にこの世における人間の生き方の真理を追求するためにあるものですから，必ず両者は収斂するはずであります。そこで私は深く考えれば宗教と科学は極めて類似したものであることをたとえば次の一例でお示ししたいと思うのであります。

皆様御承知のように仏教には不則不離で行動せよという訓えがあります。これは実社会における吾々の行動原理を示したものであります。たとえば愛情のみで事処理すれば世の規律は消滅し，罰のみを完全に行えば愛は消滅してしまいます。よって不則不離で行動せよということであります。物理学においては電子の位置を決定するとき Heisenberg の不確定性原理 $\Delta p \times \Delta x \geq h$ が適用されますが，運動量の誤差 $\Delta p = 0$ の測定においては位置の誤差 $\Delta x = \infty$ となってしまいます。このように，実存的行動を規定する仏教の行動原理は，物理学における実験原理と全く類似なのであります。皆様われわれはともに手をとって科学と宗教を収斂せしめるよう行動しようではありませんか。